



春夏秋冬

2020
vol.22
季刊発行

eco 情報



「羽生市プレミアム付商品券」

商品券というとスーパーや小売店の買い物と思われるかもしれませんが、当社でも商品券取扱店になっていますので、リフォーム工事の際の支払いにご利用ください。

羽生市商工業の活性化のために是非ご活用ください。

使用期限は令和3年2月28日です。
ご注意ください。

ワンジャ 王家 菜館

中田家の嫁、王さんが教える中国の家庭料理。ぜひ試してください。



file No.022 「回鍋肉」(ホイコーロー) 日本人馴染みのある中華料理のひとつです。



● 材料 (二人分)

- | | |
|-------------|----------|
| 豚バラ肉・・・120g | ごま油・・・少々 |
| キャベツ・・・100g | 豆板醤・・・少々 |
| ピーマン・・・半分 | 調味料・・・少々 |
| パプリカ・・・半分 | 醤油・・・少々 |
| 長ネギ・・・1/4本 | 酒・・・少々 |
| 生姜・・・少々 | |

● 作り方

- 1、キャベツは、ざく切り、ピーマン、パプリカは乱切り。長ネギは、みじん切りにし、豚バラ肉は5センチ幅に切る。
- 2、フライパンにごま油を入れ長ネギ、生姜を入れ豆板醤を加え炒めます。
- 3、香り立ったら肉を加えキャベツ、ピーマン、パプリカを炒め、酒、調味料、醤油で味を調え出来上がりです。

ソーラーサーキットの家



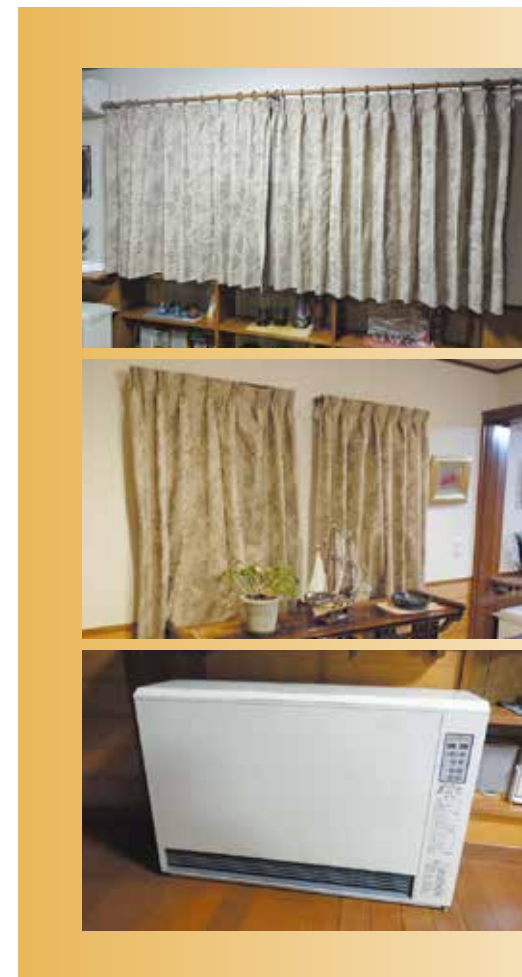
発行：有限会社 小山建設
羽生市中央2-6-3
☎048-561-6878
info@e-hous.co.jp
編集長：中田 新一

● web もご覧ください
<http://www.e-hous.co.jp/>



* 三代目通信 *

入社して1年半、研修を終え横浜のショールームに配属され少し慣れた時、コロナの影響で2か月間のショールーム閉鎖、今は密にならないように完全予約制で頑張っています。



「冬が来る前に」

今年の夏は連日の猛暑により室内にいても体のダメージは、大きかったと思います。
夏の暑さも大変ですが冬は夏以上に体に負担がかかります。外気温0度、室温20度、浴槽40度と一日に何度も温度差の波に襲われます。外気温は自由になりませんが少なくとも家の中だけでも健康な住まいにしたいと思います。
居室、廊下、階段、寝室、トイレ、脱衣室の温度差をなくして、一日を通して温度を一定に保つことが健康住宅の第一歩です。冬の寒さの多くは窓から侵入します。寝室であれば雨戸、サッシ、室内建具、カーテンと多層にすることで寒さの侵入を緩和できます。
冬が来る前に寒さ対策に備えましょう。不安がありましたら当社までご連絡ください。

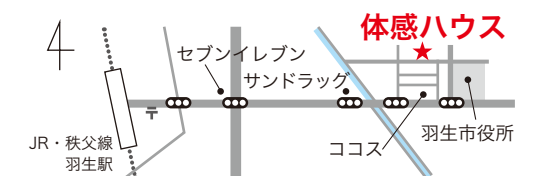
イベント報告

小山建設は夏涼しく冬温かい外断熱・二重通気工法「ソーラーサーキット」をおすすめしています！



9/12に開催した「現場完成見学会」のイベント報告

構造見学会、完成見学会コロナ禍の中で消毒、マスク、予約制等、配慮しながら無事終了いたしました。御協力ありがとうございました。



羽生市東6-5-13 ☎048-563-1123

report How to 家づくり

家が出来上がった後は見る事が出来なくなってしまふ家の基礎や壁の中、天井裏など構造見学会の様子をご紹介します。



「完成見学会」

当日は、あいにくの雨模様の中でしたが、かえって外気と室内の空気の違いを体感出来て良かったと言っていました。



一般の住宅展示場では、インテリア、浴室、キッチン、トイレなどの水回りに関心がいきがちですが、生活を考えたとき、玄関から入ってホールを通じて居室までの導線や階段の幅、使いやすさ、体で感じる空間の解放感など実際の家だから見られるサイズも貴重な体験です。



完成から引き渡しまでの貴重な家を見学会に利用させていただきありがとうございました。

高気密・高断熱の造りは当社体感ハウスでも体験できますので、ご来場ください。



「地元・羽生市での取り組み」

「地元での交流」

国際交流：今年は、さすがに外国との行き来は難しい。コロナの終息まで、まだ時間がかかりそうだ。私の所属する NPO 法人まちおこし・はにゅう市場で、6 年前、羽生市と交流のあるアメリカのミルブレイ市へ 23 名の視察ツアーを組むことになった。あまり細かな情報がない中でサンフランシスコ空港に出迎えてくれたのは、



キャサリン木村さん日系人だと勝手に思っていたら、青い目の女性だった。ミルブレイ市は空港に隣接した高級住宅街、人口は 2 万人とコンパクトだ。



翌日は地元警察署へ、署長自らが署内の武器庫、留置所へ案内してくれた。署長の案内の楽しかったこと、記念品は保安官バッチだった。これにはみんな感動していっぺんでアメリカが好きになってしまった。この後の高校も、どの教室をのぞいてもフレンドリーで異文化を体で体験することができた。翌日の「日本祭り」も日本交流実行委員長のキャサリンさんを中心にみんなの知恵と協力で成り立っているのが見て取れた。なかでもスピーチに立ったミルブレイ市長さんが美人過ぎてびっくりした。短い日程だったけど心から楽しむことができた。



2年後には羽生市政 60 周年に合わせて日本交流実行委員長の「キャサリンさん」も来日され、日光の紅葉も楽しんだ。

その後も羽生の夏祭りにミルブレイ市から子供を含む総勢 17 名がホームステイをしながら羽生の夏を楽しんだ。交流事業というのは、人がいて成り立っていることをつくづく実感する。

匠の道具

高橋豊店の「両用機」

畳のヘリを縫い付ける機械、畳のミシンのようなもの。かつて畳屋さんは、お客さんの家の庭先で太い畳針と糸で手縫いによって張替え作業を行っていましたが、昭和 45 年くらいから機械が普及し車で運搬して作業場で機械を用いて畳の張替えをするようになりました。作業効率は 1, 5 倍くらいですが、体はだいぶ楽になりました。

